

各種プログラムのご紹介

Program For Factor 1	Program For Factor 2	Program For Factor 3
<p>成功シナリオ策定支援 150万円～</p> <p>マネージャ/メンバーによるワークショップ (2日～8日間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の事業環境分析、課題の共通理解 ・ビジョン・目標の設定 ・成功シナリオの策定 <p>簡易組織診断は別途費用となります。</p>	<p>現場力向上支援 200万円～</p> <p>マネージャ/メンバーによるワークショップ (3日間～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行計画づくり ・予実管理と進捗分析 ・改善策の策定 <p>簡易個人診断は別途費用となります。</p>	<p>リーダーシップ&メンバーシップ向上支援 100万円～</p> <p>マネージャ/メンバーによるワークショップ (1日～3日間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つのコミュニケーションスキル(目標設定力・言動観察力・信頼関係構築力・質問力) ・ビジョン共有スキル(リーダーシップの質・ニューロロジカルレベルの一致) ・チームパフォーマンス向上スキル(リソースの相互承認・再フレーム化・成長の相互共有) <p>等の育成・向上</p>

JMARのご紹介

日本能率協会総合研究所 (JMAR) は、日本能率協会グループのシンクタンクであり、同グループは“経営革新の推進機関”としてコンサルティング、システム開発、シンクタンク、経営教育、事業監査、産業振興、情報サービスなどソリューションを提供する、1,500人のスペシャリスト集団です。日本国内にとどまらず、ヨーロッパ、アメリカ、韓国、中国、東南アジアなど世界的に活動を展開しております。

また、弊社は、官公庁の政策立案・計画立案のための調査研究事業と、民間企業のマーケティング、コンサルティング事業を行っております。皆様方の問題・課題の解決には、実績ある弊社のノウハウを是非一度ご活用ください。

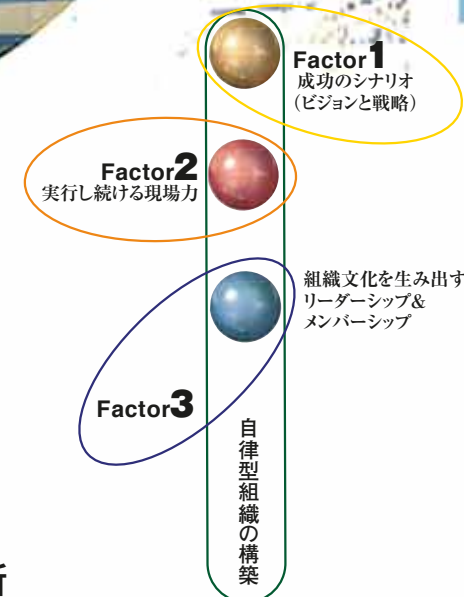
さらに、私たち経営革新推進チームでは、経営革新の推進機関として民間部門・公共部門に対する半世紀に渡る経営支援の蓄積に基づいて、経営に関する様々な課題の解決・支援を提供しております。

お問い合わせ先

JMAR (株)日本能率協会総合研究所
 産業経営研究部 経営革新支援グループ <http://www.jmar.co.jp>
 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22 日本能率協会ビル6階
 TEL:03-3578-7626 FAX:03-3578-7614

Road to goal achievement

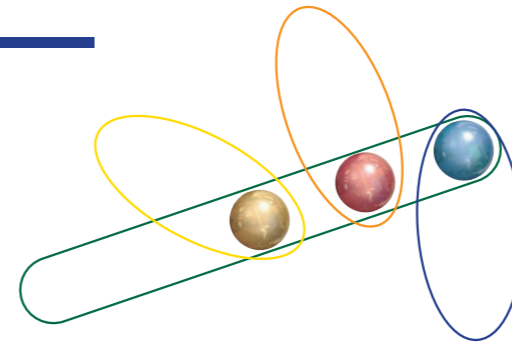
ミドルマネジメント層強化
 拠点自律活性プログラムのご案内



「目標達成」。それは自らの意識と行動の変革によってつかみ取るもの。 拠点自律活性プログラムが拓く成功へのマネジメント。

自拠点を目標達成に導くための3つのファクター

個々の組織のマネジメントには、トップや人事担当からは窺い知れない歪みが起こっていることがあります。こうした歪みを解消するには、小手先の対策ではなく、次の3つのFactorに着目した、真の目標達成に連動する自律活性プログラムが不可欠となります。



「組織が、メンバー自身の力で活性化し、目標の達成と人材の成長が実現する・・・」。組織のマネージャーであるあなたが求める、そんな「自律的な組織」はどのようにすれば構築できるのでしょうか？ その答えはここにあります。

弊社の自律活性プログラムは、目標やあるべき姿を実現するために、組織の特性に応じた成功シナリオを、メンバー自らが考え設計することで、組織全体の取組み姿勢を変革する最適なプログラムです。

Factor

1

成功シナリオの策定

成功のシナリオとは・・・

課せられた目標や目指すべき姿に近づくためには、現状と到達地点のギャップを正確に把握し、そのギャップを埋めるための道筋を誰もが理解・共感できる形で描かなければなりません。お仕着せではなく主体的に取組み、新たな成長に向けた筋書きを描く、それこそが成功シナリオです。

失敗要因

- ・部門成功シナリオを妨げる課題が解決されていない
- ・そのため、成功シナリオを現場の言葉や自分の言葉で語れない
- ・管理は期限管理と収支管理のみで何の夢もない
- ・もともと部門の方向性や活動の優先順位が見えない

成功シナリオ策定支援

●簡易組織診断

自律活性度簡易診断で現状の活性度を認識した上で、自律活性に向けた成功シナリオを創ります。

●最新の経営管理フレームの活用

現場(拠点)にフィットしたシナリオとなるよう、最新の経営管理フレームを活用します。

●実践型アクション・ラーニング

従来の研修、机上の計画と異なる現場(拠点)の事実に基づく実践型アクション・ラーニングを活用します。

シナリオ作成の効果・メリットは？

- ☆共有された目標の達成を目指してメンバーを結集させることができます
- ☆過去との決別と変革をうながし、新しい未来に向かうためのストーリーを語るができます
- ☆メンバー個人が役割を意識し、知識を高め、全員のベクトルが定まります

アクション・ラーニングとは、企業が抱える現実の問題への対策をチームで立案し、行動することにより、チーム学習能力を高めるアプローチです。

Factor

2

現場力の向上

現場力とは・・・

現場力とは、成功シナリオとして描かれた戦略を、正しく着実に実行する力のことです。現場力を高めるには、競争力を持つ高い「目標設定」、課題解決に対する強い「当事者意識」、全員の参加と共通理解による「組織力」が必要です。

失敗要因

- ・目標はあっても責任の所在があいまいで、毎年新たな目標が設定されるだけ
- ・個人の役割・分担が不明確で、個人目標と部門目標に関連性がない
- ・継続的な進捗把握がなく、達成度合に対するフィードバックや改善対応がない

現場力向上支援

●簡易個人診断

現場を支えるのは“人”。メンバーの持ち味を適正に診断し、1人1人の気づきを高めます。

●最新の経営実践フレームの活用

現場(拠点)での実践にフィットするよう、最新の経営実践フレームを活用します。

●実践型アクション・ラーニング

成功シナリオのPDCAサイクルを実践型アクション・ラーニングの手法で展開し、実効性を高めます。

現場力向上の効果・メリットは？

- ☆役割分担が明確になり、全員が当事者意識を持つ「熱い現場」が生まれます
- ☆目標の達成に向けて、組織を超えた連携・協力ができる「強い現場」となります
- ☆PDCAサイクルを回し続けることで、業務改善を継続し、常に上を目指す「進化する現場」となります

Factor

3

リーダーシップ&メンバーシップの向上

リーダーシップ&メンバーシップとは・・・

「成功する組織を創り出す」ための成功シナリオを描き、組織風土・文化を創りあげ、他者に影響を与える能力がリーダーシップです。一方、メンバーシップとはリーダーシップが機能するための土台となるもので、組織の一員であるという自覚を持ち、課題を自分のこととして認識し、目的達成に向けて能動的に動くことができる力です。

失敗要因

- ・成功シナリオを共有するためのコミュニケーションスキルを知らない
- ・モノ・カネ・情報の管理と人のマネジメントを同じだと勘違いしている
- ・組織や自分の成長が実感できない

リーダーシップ&メンバーシップ向上支援

●最新実践コミュニケーション心理メソッドの活用

リーダーシップ&メンバーシップを支えるのはコミュニケーションの量でなく品質です。品質を高めるために、目標設定スキル、感覚の柔軟な活用、言動観察スキル、質問スキル、リフレーミングスキルなど、既に欧米のビジネスリーダーが活用している最新の実践心理メソッドを活用します。

●実践型アクション・ラーニング

各種スキルについては理論よりも、ビジネス場面で活用しやすい演習などをふんだんに盛り込み(全体の80%は実習、演習となります)、実効性を高めます。

リーダー&メンバーシップ向上の効果・メリットは？

- ☆多様な個の能力を結集するポイントがわかり、柔軟性、自律的な考え・発言・行動スタイルが高まります
- ☆そのことで、メンバー相互の自律を支援できる考え・発言・行動スタイルが芽生えます
- ☆それによって、前向きな思考でチャレンジできる発想・行動習慣、組織のカルチャーを生み出せます。また新しいことに取り組む際の柔軟性と発想転換の力を高めることができます
- ☆この結果、コミュニケーションの質が高まり、仕事上の良好な人間関係を育め、仕事の納得感・生産性を高められます